

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

平成31年4月23日（火） 午後2時

閉 会 年 月 日

平成31年4月23日（火） 午後2時26分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教 育 長 飯 野 眞 幸

教育長職務  
代 理 者 乾 宏 行

委 員 竹 内 一 普

委 員 清 水 久 美

委 員 塚 田 展 子

事 務 局（説明員）

教育部長 小 見 幸 雄

学校教育担当部長 熊 井 正 裕

教育総務課長 植 原 政 美

社会教育課長 土 谷 真由美

文化財保護課長 角 田 眞 也

中央公民館長 小 峰 好 恵

中央図書館次長 秋 山 美和子

教職員課長 大 澤 克 教

学校教育課長 佐 藤 明 彦

健康教育課長 山 崎 幹 夫

教育センター所長 永 井 智 幸

高崎経済大学附属高等学校事務長 神 宮 義 子

書記 教育総務課 高 橋 慎太郎

4月23日	会議に附した事件
議案第11号	高崎市立図書館条例施行規則の一部改正について

## 高崎市教育委員会 4 月定例会会議録

### 教育長（飯野眞幸）

それでは、本日は今年度最初の定例会ですので、会議に先立ちまして、人事異動に伴う職員の紹介を事務局からしてもらいます。

（職員紹介：小見教育部長）

### 教育長（飯野眞幸）

今年度最初の定例会ということもありますので、教育委員さん方からも、自己紹介を一言いただけたらと思います。

### 教育長職務代理者（乾宏行）

職務代理者の乾宏行です。どうぞよろしくお願いいたします。

### 委員（竹内一普）

教育委員 3 年目になりました、竹内と申します。よろしくお願いいたします。

### 委員（清水久美）

教育委員 2 年目の清水久美と申します。よろしくお願いいたします。

### 委員（塚田展子）

昨年 10 月からの初心者マークです。よろしくお願いいたします。

### 教育長（飯野眞幸）

ありがとうございました。

それでは、これより高崎市教育委員会 4 月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第 1 会期の決定といたしまして、会期は、本日 1 日といたします。

日程第 2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、竹内委員と清水委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第 3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

### 教育長（飯野眞幸）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

### 教育長（飯野眞幸）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第 11 号「高崎市立図書館条例施行規則の一部改正について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（秋山 中央図書館次長 説明）

**教育長（飯野眞幸）**

説明が終わりましたがけれども、ご質疑ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

**教育長（飯野眞幸）**

よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。本案は原案のとおり決することよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

**教育長（飯野眞幸）**

ご異議なしと認め、議案第11号は原案のとおり決しました。

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局からその他報告等がありますか。

（「特になし」との声あり。）

**教育長（飯野眞幸）**

それでは委員の皆様からこの際、ご意見、ご質問等あれば出していただけたらと思います。いかがでしょうか。

**委員（清水久美）**

保護者の方から言われるのですが、最近の小中学生や高校生が、とても重たい鞆を背負っていて、特に中学1年生でまだ体もできていない子が、本当にばんばんの重たい鞆を背負っていくと、どうしても前かがみになってしまって、姿勢や体の成長に何か不都合が生じるのではないのか心配です。私も、中学生の子どもものを持ってみると、大人でも片手で持ち上げられないくらいの重たい鞆です。

今、教科書も副教材が多くなって、致し方ないとは思いますが、毎日重い鞆を背負って、前かがみで登校するのは、特に中学校の成長期に大丈夫なのかと、何名かの保護者から心配の声を聞きますが、いかがでしょうか。

**教育長（飯野眞幸）**

乾先生、健康上の問題はいかがですか。

**教育長職務代理者（乾宏行）**

確かに、肩や腰に負担がかかって、あまり良いことではないと思います。

それから、どうしても前かがみになりますと周りの状況が見えなくて交通事故になりかねませんね。

教科書はやはり持って帰らないといけないのでしょうか。最近は置いておくことが増えているような話しも聞きますが。

あまり重たいものを持たないほうが良いと思います。

**教育長（飯野眞幸）**

学校教育課長いかがですか。

#### 学校教育課長（佐藤明彦）

昨年度からの懸案として、教育委員会としても、学校に教室に置いていける物については、できるだけ置いていくように、昨年度から指導しております。

ただ、家庭学習で必要な物や宿題等で家庭に戻ってから必要になる物については、やはりどうしても持って帰らなくてはならないという現状もあるかと思えます。

交通事故等は我々も大変心配しているところでありますので、4月で年度も変わりましたので、学校には、再度、持って帰るものと、学校に置いていけるものについて、しっかり校内で話し合ってもらい、学年で統一して置いていけるようにするなど、子どもたちの負担にならぬよう指導していきたいと思えます。

#### 委員（清水久美）

よろしくをお願いします。

#### 教育長（飯野眞幸）

補足しますと、昨年度、議会の一般質問でやはりこの件が取り上げられております。特に小学校低学年が可愛そうではないかということが発端でした。

学校に教科書等を置いていくことを「置き勉」と言っていますが、通知を出したりして、そういうことを学校全体で考えて欲しいという指導はしていますが、教員によって対応が違うというような問題点も指摘されているところです。

今、中学生の話が出ましたが、中学校では自転車通学する子たちも出てきますので、運転中に安定が悪くなることも懸念されますし、小中学生全体に通じることとしては、健康の問題があると思えます。

年度当初にご指摘いただきましたので、この事については再度、来月の校園長会議でも話をさせていただきたいと思えます。

#### 委員（清水久美）

ありがとうございます。

#### 教育長（飯野眞幸）

他にいかがですか。

#### 委員（竹内一普）

ニュースを見ますと、全国でいたたまれない交通事故が、昨日も今日も発生しております。通学に関しての安全確保について、高崎市もしっかりとやらなくてはいけないかなと感じております。

この件とは別の話となりますが、今、SNSの発信をする保護者が大変多くなっております。また、「高崎市の教育」などのキーワードで検索すると、フェイスブックでも結構引っかけってきます。その中には、保護者が結構過激なことを発信しているものもありまして、それに賛同する保護者も多くいる様子が伺え、中にはいわゆる「炎上」というような状況にもなりかねないものもあるようです。

このようなSNSに対しても、教育委員会の対応として、アンテナを立てておいた方がいいのではないかと感じており、また、それに対して、実際にどういったことが生じているのかを抽出すべき事態なのかについて判断もしていかななくてはならないのでは

ないかと感じました。

**教育長（飯野眞幸）**

学校教育課長いかがですか。

**学校教育課長（佐藤明彦）**

ネットパトロールと言いまして、子どもたちの実情をパトロールしている事業が教育委員会にもあるのですが、学校で何らかの問題となっていることについて、保護者のSNSにアップされて議論になっているようなことについては、もう少し気に留めて、注意しながら見ていかないといけないと思いますので、今後、気をつけて行きたいと思います。

**教育長（飯野眞幸）**

簡単につぶやける時代になって来たので、それに対する反応というのいろいろ出てきます。その分、竹内委員が言われたように、アンテナをきちんと立てて対応していくという事も、非常に大事かなと思います。

よろしいでしょうか。他にいかがですか。

**委員（塚田展子）**

スマートフォンの学校への持込みについてなのですが、大阪では持込を許可するという形になりましたが、このような動きがどのようにになっていくか気になっております。

大阪では大きな地震があったときに、いろいろ心配したけれど連絡が取れなかったことをきっかけとして、持込の方向となったようです。

群馬県では、喫緊の問題としては、このよう形で話は出てこないかも知れませんが、スマートフォンの持込について、高崎ではどのようにお考えですか。

**学校教育課長（佐藤明彦）**

現在は、特にスマートフォンの持込を許可するような方向では考えておりません。

子どもたちの安全面、特に通学に際しての安全や、災害時にどうするかについては、スマートフォンを持込むこと以外で、できるだけ子どもたちの安全が守れるような対応を引き続き行っていきたいと思いますが、今後、大阪の状況等を見ながら、また検討していきたいと思います。

**教育長（飯野眞幸）**

補足をさせていただきますが、大阪のある都市の教育長さんとお話をしましたら、スマートフォンを解禁するのは反対とのことで、大阪でも意見が分かれているという話をされていました。また、高崎でも人権講演会でお呼びしたことがある先生が、新聞で、スマートフォンの持込は慎重に行うべきとおっしゃっていて、他の方法であるとか、スマートフォンが健康に与える影響であるとか、そのようなことが十分に整備されない中で、持込を可とするのは非常に問題が多いと指摘されていました。

たぶんそれが世論だろうと、私は思います。高校に携帯電話が持込まれたときも、やはり非常に大きなトラブルがありました。

今回、大阪の対応としては、鞆の中に入れておくということですが、紛失の問題もあ

って、今、端末がすごく高価になっていますから、その問題をどうするか、また、学校によっては教員が預かるという案もあるようですが、その場合は、中身を見られたとか、プライバシーの問題も出てきますし、国でも通知を検討しておりますが、いきなり全面的にどうぞ、というところまでは時間がかかるのではないかとというのが、現時点での状況かと思えます。

よろしいでしょうか。他にはよろしいでしょうか。

先ほどの竹内委員のお話しの中にもありましたけれども、自転車等のいろいろな事故の問題もありますので、皆さんにご心配を掛けした高崎経済大学附属高等学校の自転車事故の経緯を、健康教育課長から皆さんにお話していただけますか。

(山崎 健康教育課長 説明)

### 教育長（飯野眞幸）

大変ご心配をお掛けしましたけれども、私が入学式で自他の命を大事するという事で、「交通事故には気をつけてください」と言った数日後の事故でありました。ご存知のように、高崎経済大学附属高等学校は、自転車のヘルメットのモニターに応募している学校でして、そのような学校で、このような重大な事故が起こったということを重く受け止め欲しいと、全職員を集めた会議の中で、再度お願いをして参りました。

今、ヘルメットが問題になっていますが、どうもヘルメットというと、通学の時に使っている、白くてかっこ悪いものだというイメージがあるようなのですが、「榛名山ヒルクライム」で使用されているような、カラフルなヘルメットが、今、出ているんですね。

警察関係の方によると、今回の事故もヘルメットを被っていれば、軽症で済んでいたのではないかとのことでした。ですから、やはり命をどのように自分で守るかということをもっともっと生徒の目線に降りて、教えて行かないといけないのではないかと感じました。

ただ、高校生になると、かっこ悪いと言っていたりもしますし、駅から自転車で来ている子が自転車を預けるところにヘルメットを置いておけるかという問題もあるので、自分の家から通っている子たちと違う対応もあるものですから、高校の場合は難しさがありますけれど、ヘルメットを被っていれば、軽症で済んだという話でしたので、そのいったことを生徒たちにもきちんと伝えていく必要はあるかと思えます。

新年度早々の大きな事故でしたが、なんとか命が取り留められて、回復に向かっているということは、大変良かったと思います。

その他ございますか。

### 委員（竹内一普）

関連して、先日、県外で、交通教室でスタントマンがお亡くなりになりましたよね。

高崎市の場合だと、3年生ぐらいが自転車教室やっていることは知っていますが、あのような形で、市内では教室を行っているのでしょうか。

### 委員（清水久美）

スタントマンを入れた教室は、高校ではやっているところがあると思いますが、小中学校では、やってないのではないかと思います。

**委員（竹内一普）**

小学校3年生の授業は、内輪差が危ないという授業で、ペットボトルが「グシャグシャ」という音をたててつぶれて、子どもが怖がっているところを現場で見せていただいたことがあります。

**教育長（飯野眞幸）**

高崎の交通公園で行われている教室はどのようにしているか、後で資料を提供させていただきます。

**委員（清水久美）**

先ほどのヘルメットの件ですが、やはり中学校までは、学校の決まりで被らなければいけないというのがあるので、小中学生は本当に律儀に被っていますが、高校生になると、被らなくていいという認識が子どもたちにあって、私も自分の子どもに、「どんなに高くてカッコ良い物を買ってもいいから、絶対被りなさい。」と言っても、「カッコ悪い」とか、特に女子は髪型をきちんとしていくので、ヘルメットをずっと被ると、つぶれてしまうというように、自分の安全よりもファッション性を優先してしまっているようです。

また、高校生になるとクロスバイクとかも使い、スピードもかなり出るので、中学生より高校生の方が、より一層ヘルメットが必要なのではないかなと思っています。

でも、子どもの意見は、「嫌だ」というのが多いと思いますし、新聞とかで拝見すると、モニター校でも全校生徒の中で10人くらいしか被っていないというようなこともあるようですが、今回の件で、ヘルメットは、親としたらとても被ってもらいたいなど強く思っております。

**教育長（飯野眞幸）**

他にございますでしょうか。よろしいですか。

（「なし」との声あり。）

**教育長（飯野眞幸）**

ないようですので、以上をもちまして、教育委員会4月定例会を閉会いたします。  
大変ご苦労様でした。